

2027年3月期 第1四半期決算説明資料

(2026/04~2026/06)

TACHI-S CO.,LTD.

2026年8月5日



目次

- ▶ 1. 2027年3月期 第1四半期決算実績
- ▶ 2. 補足説明資料

目次

- ▶ 1. 2027年3月期 第1四半期決算実績
- ▶ 2. 補足説明資料

単位：億円
(億円未満切捨て)

	25年第1四半期	26年第1四半期	増減額	増減率(%)
売上高	639	666	+26	+4.2
営業利益	11	20	+8	+79.9
経常利益	10	26	+15	+146.6
親会社株主に帰属する 当期純利益	0	14	+14	－

<第1四半期決算概況>

- ◆ 売上高は、北米のシート販売及びアジアの部品販売が堅調に推移したこと、また為替（円安）影響により増収となりました。営業利益は中国において前期の事業再編効果の剥落があったものの、中南米でのパフォーマンスの改善と全社で取り組む収益改善効果により増益となりました。
- ◆ 経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益は、中南米の収益改善効果と為替差益が主な増加要因となりました。

業績変化の要因（連結）－前期比－

単位：億円
(億円未満切捨て)

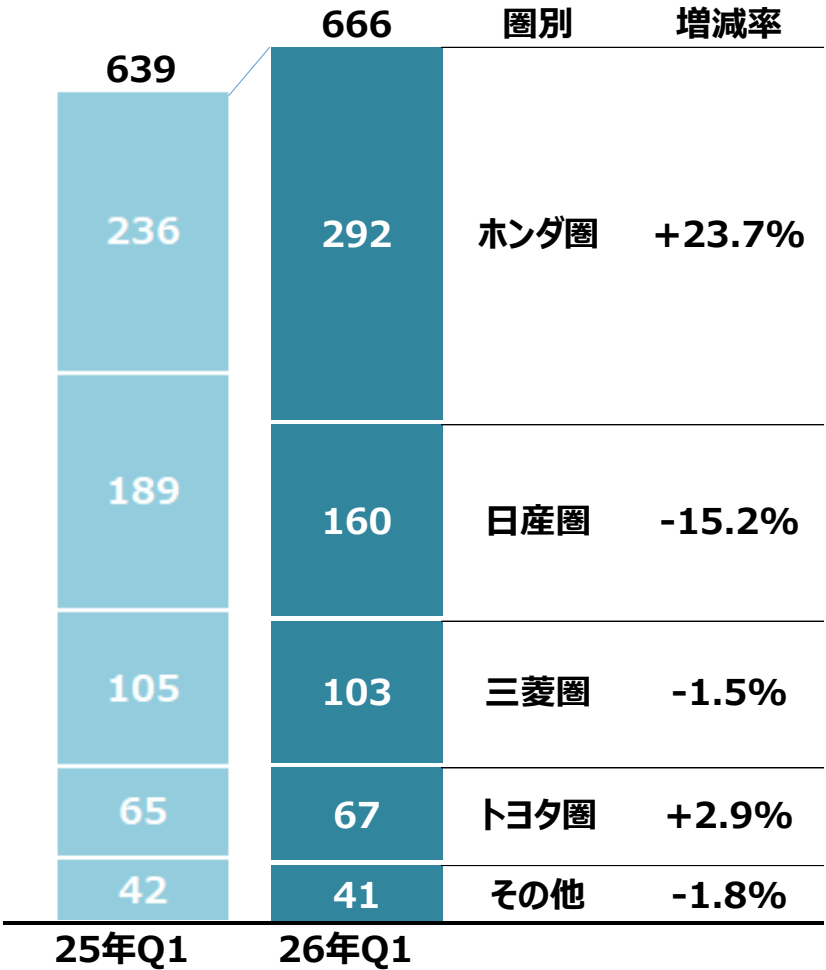
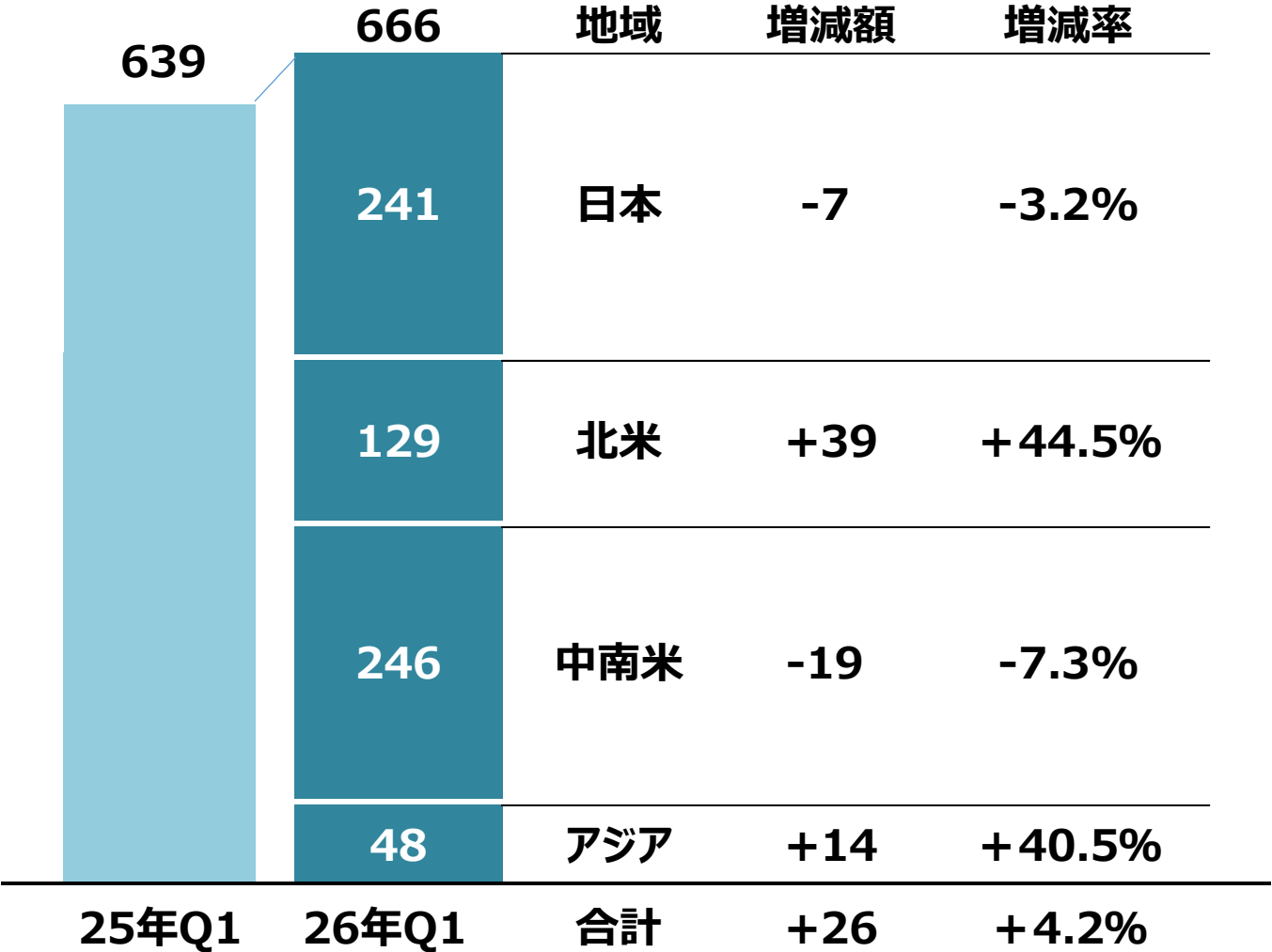
2027年3月期 第1四半期決算実績

為替レート (JPY)		
25年Q1	26年Q1	
USD=154.09	USD=155.34	12月決算会社
USD=145.32	USD=158.80	3月決算会社
MXN= 7.52	MXN= 8.88	
RMB= 21.11	RMB= 22.39	

売上高

地域別

圏別

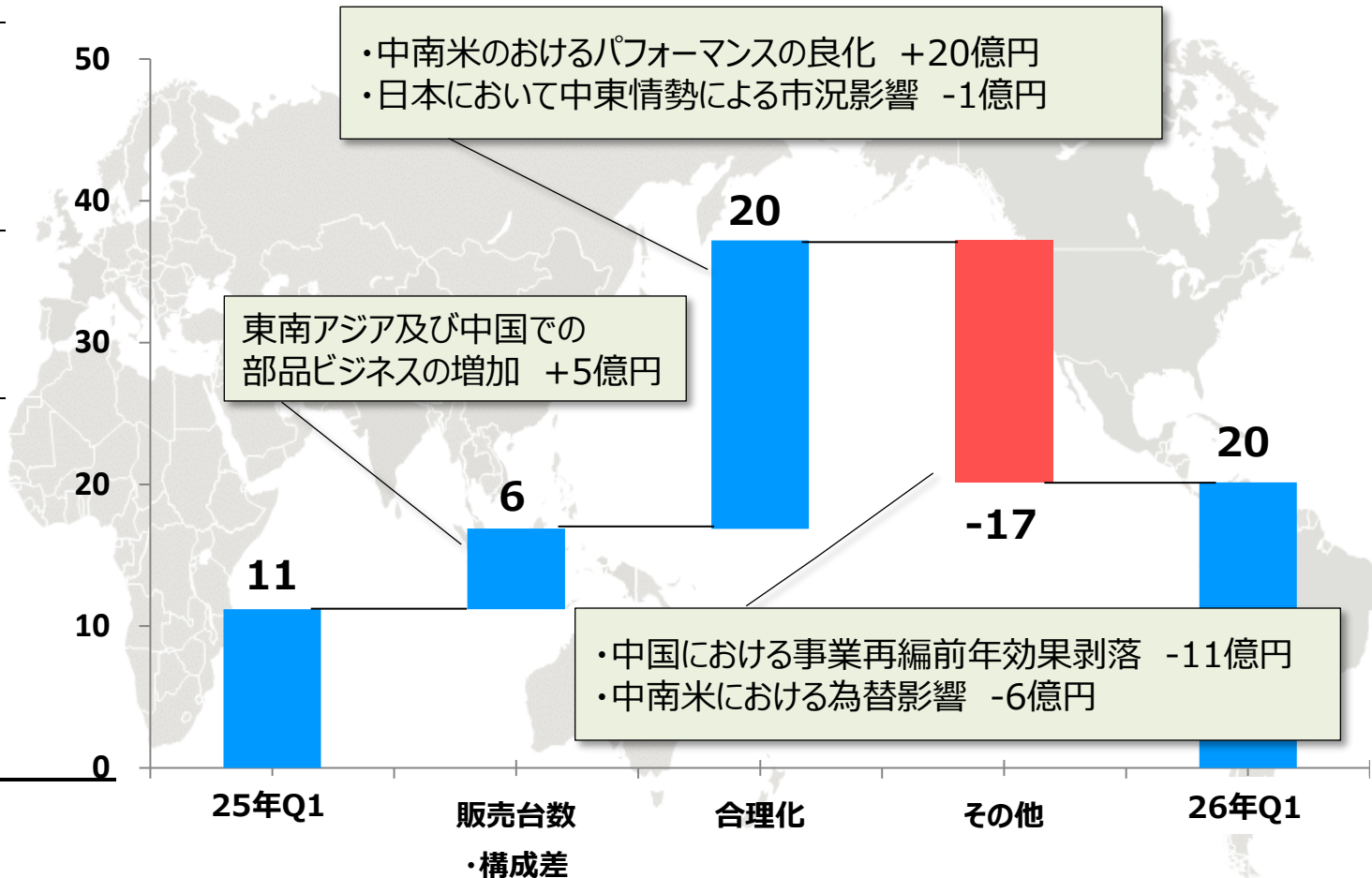
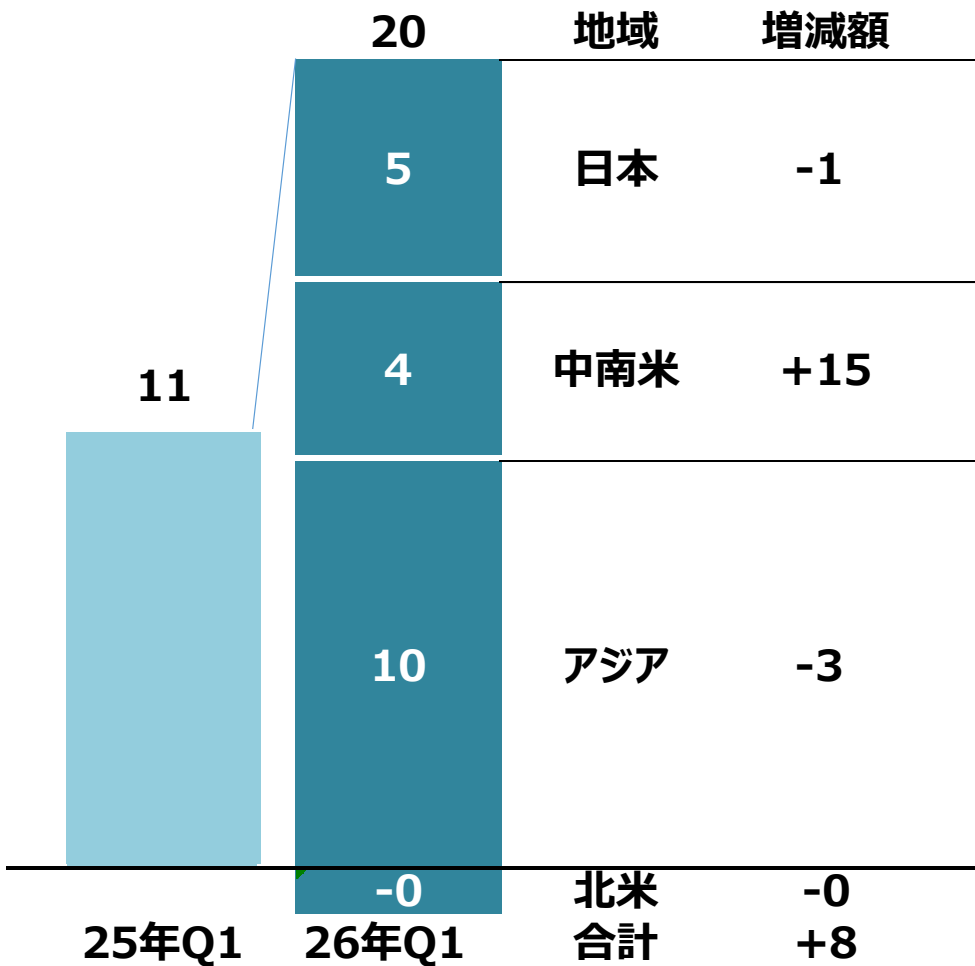


営業利益

部品ビジネスの増加及びパフォーマンス向上により増益

単位：億円

(億円未満切捨て)

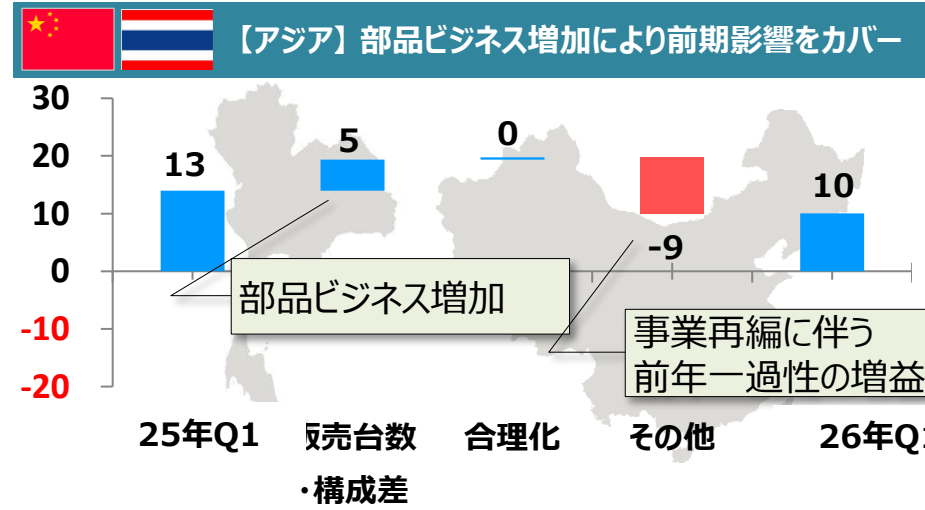
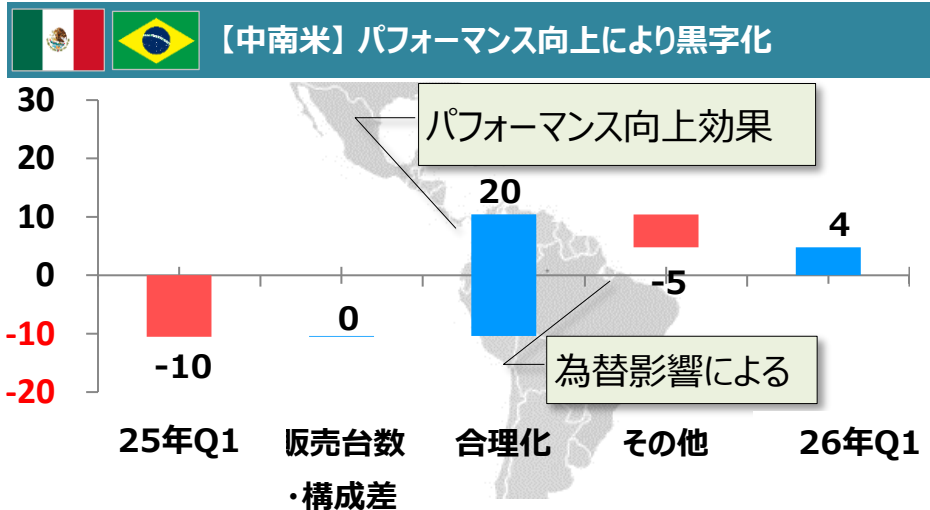
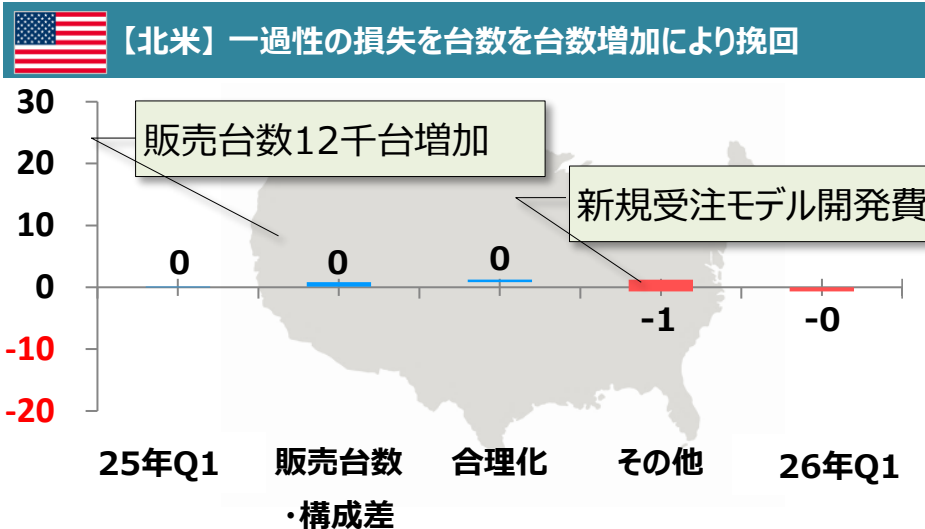
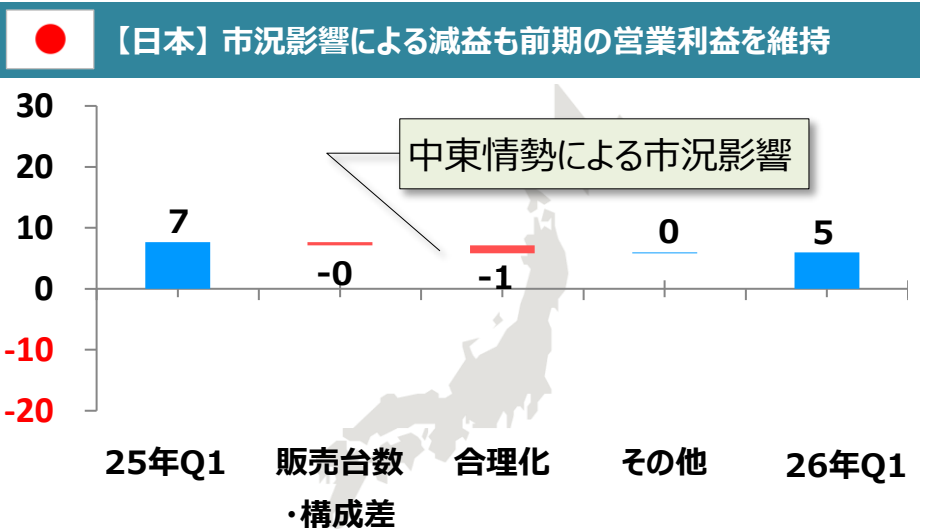


営業利益の増減要因分析（連結）－前期比－ 主要地域別

営業利益

地域別

単位：億円
(億円未満切捨て)



25年Q1	26年Q1	地域	増減額
11	20	日本	-1
	5	中南米	+15
	4	アジア	-3
	10		
	-0	北米	-0
	-0	合計	+8

親会社株主に帰属する
当期純利益

単位：億円
(億円未満切捨て)

	14	地域	増減額
	5	日本	+1
	0	中南米	+13
	8	アジア	-0
	2	持分法	+1
	-1	北米	-1
25年Q1	26年Q1	合計	+14

親会社株主に帰属する当期純利益は、営業利益同様に中南米の収益改善効果と為替差益が主な増加要因となりました。

目次

- ▶ 1. 2027年3月期 第1四半期決算実績
- ▶ 2. 補足説明資料

外部環境要因

為替影響

メキシコペソ (MXN)/米国ドル (USD)
25年Q1 → 26年Q1
20.4MXN/USD → 17.5MXN/USD

中東情勢

販売台数やサプライチェーンの影響について

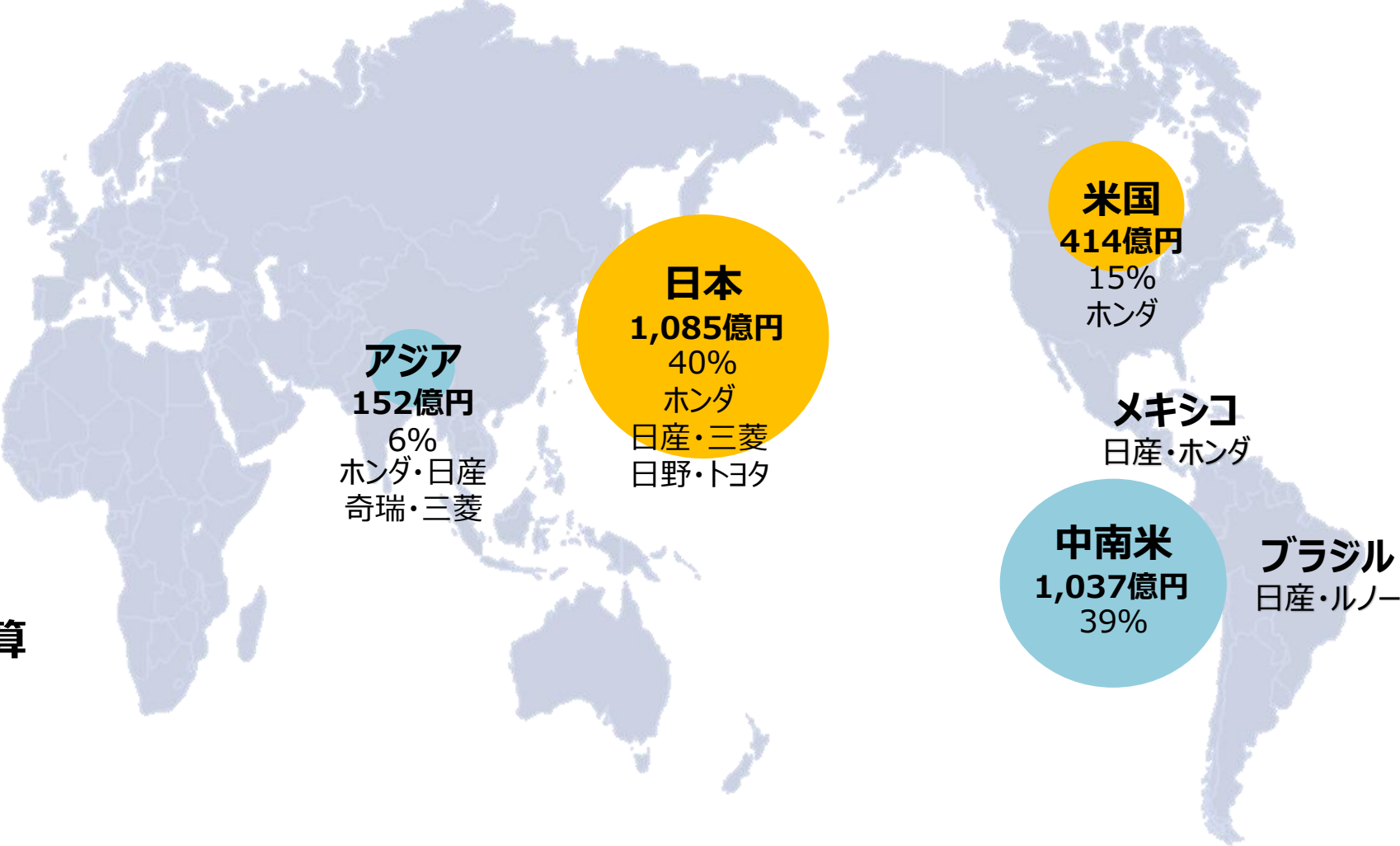
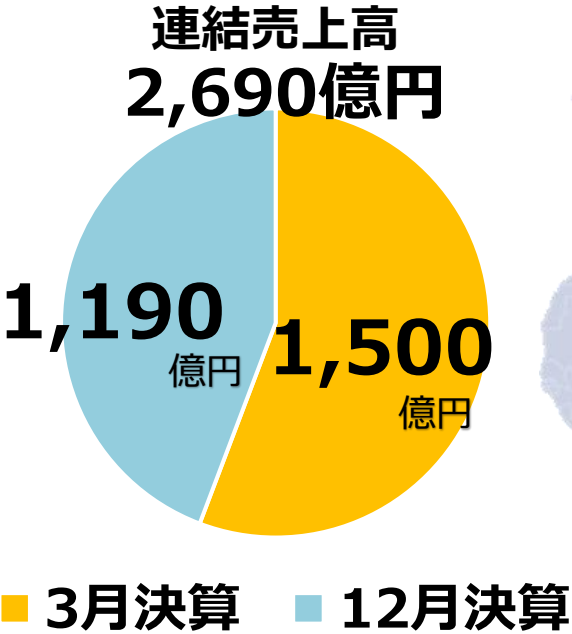
令和 8 年熊本地震

7月28日に発生した熊本地震により、お亡くなりになられた方々に謹んでお悔やみを申し上げますとともに、被災されました皆様に心からお見舞い申し上げます。

当社のQ1決算影響

- 決算時の換算影響以外では、2025年1月以降のメキシコペソ高/米国ドル安のトレンドが継続し、中南米における営利段階の為替影響は-6億円（前期比）
- 現時点では台数影響はほぼなし
- 一部の部品の供給確保が困難になっているものの、サプライヤー、得意先と情報共有し、速やかに対応中
- コスト上昇分は得意先と共有、影響について協議中
- 関係各社の状況を継続的に確認中
- 現時点で当社グループの生産活動および業績への重要な影響は確認されておりませんが、今後影響が発生した場合には適時適切な対応を実行いたします

地域別決算期と売上高（2026年3月期 通期実績）



“座る”を追求し人と地球を支える



Global Seat System Creator

本資料についてのご注意

本資料に記載されている将来に関する見通しは、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した見通しであり、不確実性やリスクを含んでおります。

したがって、実際の結果は様々な要因によって見通しと異なる可能性があります。ご了承ください。